



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社中村超硬 上場取引所 東  
コード番号 6166 URL <https://www.nakamura-gp.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 井上 誠  
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 田植 啓之（TEL）072-274-0007  
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,526	28.1	△10	—	△19	—	△25	—
2024年3月期中間期	1,191	△34.6	△200	—	△205	—	△265	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △24百万円（—%） 2024年3月期中間期 △270百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△2.29	—
2024年3月期中間期	△24.05	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	5,722	827	14.3
2024年3月期	6,003	854	14.0

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 817百万円 2024年3月期 842百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	36.8	110	—	80	—	20	△86.1	1.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	11,020,900株	2024年3月期	11,020,900株
2025年3月期中間期	1株	2024年3月期	1株
2025年3月期中間期	11,020,899株	2024年3月期中間期	11,020,900株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、物価上昇による景気下押し要因はあったものの、所得や雇用環境の改善、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進んだことに加え、円安を背景としたインバウンド需要の回復もあり、緩やかな回復傾向となりました。しかしながら世界経済においてはロシア・ウクライナ紛争の長期化や、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動や中国経済の先行き不安など、依然として厳しくかつ不透明な状況にあります。また原材料・エネルギーコストの高止まりも継続しており、わが国経済を取り巻く世界情勢は、予断を許さない状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、特殊精密機器事業においては第1四半期に引き続いて工作機械業界や電子部品業界が低調に推移したことにより、耐摩耗工具関連分野及び実装機用ノズルの受注が落ち込むこととなりました。しかしながら、化学繊維用紡糸ノズル事業においては炭素繊維用ノズルの受注が好調を維持しているとともに、D-N e x t 事業における、パワー半導体・難削材向けダイヤモンドワイヤの販売拡大も順調に進捗いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間における売上高は1,526百万円(前年同期比28.1%増)、営業損失は10百万円(前年同期は200百万円の営業損失)、経常損失は19百万円(前年同期は205百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純損失は25百万円(前年同期は265百万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 特殊精密機器事業

特殊精密機器事業については、商社を活用した自動車部品メーカーからの受注や、同業他社の廃業や事業撤退を背景とした部品需要の取り込みなどによる新規顧客開拓、新素材で製作した実装機用ノズルや電子部品メーカー向けの新規アイテムの受注などによる既存顧客からの新規アイテム受注といった、これまで取り組んできた販売拡大施策は着実に進展しているものの、工作機械業界や電子部品業界が低調であった影響を受け、耐摩耗工具関連分野及び実装機用ノズルの売上が落ち込み、厳しい事業環境が継続しております。

これらの結果、売上高は358百万円(前年同期比13.3%減)、セグメント損失は4百万円(前年同期は19百万円のセグメント利益)となりました。

#### ② 化学繊維用紡糸ノズル事業

化学繊維用紡糸ノズル事業については、不織布関連ノズルの需要が前期から引き続き低調に推移したものの、風力発電用ブレード向けを中心とした炭素繊維用ノズルの旺盛な需要が継続しており、受注・売上ともに好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は1,039百万円(前年同期比42.9%増)、セグメント利益は100百万円(前年同期は6百万円の営業損失)となりました。

#### ③ D-N e x t 事業

D-N e x t 事業については、当社製のパワー半導体・難削材向けダイヤモンドワイヤを正式採用する企業が着実に増加し、国内大手企業や中堅企業における量産採用が進んでおります。また顧客内シェアの拡大も進捗しており、販売数量は着実に増加しております。なお、ダイヤモンドワイヤ製造装置販売については、インドにおける太陽電池の自国内生産化の進捗の遅れに変化はなく、当中間連結会計期間における商談の進捗はございました。

これらの結果、売上高は124百万円(前年同期比160.7%増)、セグメント損失は66百万円(前年同期は145百万円のセグメント損失)となりました。

#### ④ マテリアルサイエンス事業

新規事業として取り組んでいるナノサイズゼオライトについては、顧客やエンドユーザーにおける量産採用に向けた評価が継続しており、2025年度において量産開始の見込みであることに変化はありません。またこれまでに引き続き、新規顧客や触媒用途などの新規用途分野の開拓を目指したサンプル提供を継続しているとともに、展示会出展をはじめとしたナノサイズゼオライトの認知度向上に取り組んでおります。

これらの結果、売上高は4百万円(前年同期比50.7%増)、セグメント損失は54百万円(前年同期は81百万円のセグメント損失)となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

### ① 資産

現金及び預金が177百万円増加したものの、その他流動資産のうち未収消費税が223百万円減少、商品及び製品が107百万円減少したこと等により、総資産は前連結会計年度末に比べ281百万円減少し5,722百万円となりました。

### ② 負債

長期借入金が116百万円減少、電子記録債務が85百万円減少したこと等により、負債は前連結会計年度末に比べ254百万円減少し4,894百万円となりました。

### ③ 純資産

利益剰余金が25百万円減少したこと等により、純資産は前連結会計年度末に比べ27百万円減少し827百万円となりました。

この結果、自己資本比率は14.3%（前連結会計年度末は14.0%）となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ177百万円増加し、1,672百万円となりました。

当中間連結会計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によって得られた資金は、344百万円（前年同期は470百万円の支出）となりました。

これは、未収消費税等の減少223百万円、減価償却費110百万円、棚卸資産の減少92百万円等の増加要因が、仕入債務の減少77百万円等の減少要因を上回ったことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によって支出された資金は、34百万円（前年同期は1,747百万円の支出）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出32百万円等によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によって支出された資金は、128百万円（前年同期は1,943百万円の収入）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出116百万円、リース債務の返済による支出11百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月13日付決算短信において、当期の連結業績予想数値を公表しておりますが、その際に記載した予想数値策定における前提条件から大幅な変更が見られないため、従前の予想数値を据え置くことといたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,495,324	1,672,897
受取手形及び売掛金	306,679	306,535
電子記録債権	68,962	43,627
商品及び製品	134,610	26,707
仕掛品	475,322	492,600
原材料及び貯蔵品	132,270	130,453
その他	301,373	49,822
流動資産合計	2,914,543	2,722,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	994,315	973,836
機械装置及び運搬具(純額)	1,382,428	1,321,939
土地	614,882	614,882
その他(純額)	53,830	48,668
有形固定資産合計	3,045,457	2,959,325
無形固定資産	13,506	11,090
投資その他の資産		
投資その他の資産	64,003	63,041
貸倒引当金	△33,923	△33,923
投資その他の資産合計	30,080	29,117
固定資産合計	3,089,043	2,999,534
資産合計	6,003,587	5,722,178

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68,946	77,432
電子記録債務	194,831	109,445
前受金	186,666	186,666
契約負債	341,142	352,996
短期借入金	2,040,000	2,040,000
1年内返済予定の長期借入金	233,317	233,317
リース債務	24,082	23,304
未払法人税等	10,344	14,761
賞与引当金	68,579	33,654
受注損失引当金	25,781	42,191
その他	146,279	127,475
流動負債合計	3,339,972	3,241,246
固定負債		
長期借入金	791,689	675,030
リース債務	91,826	80,626
退職給付に係る負債	240,147	229,975
資産除去債務	50,069	50,424
その他	634,977	617,088
固定負債合計	1,808,710	1,653,145
負債合計	5,148,682	4,894,391
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	349,042	349,042
資本剰余金	299,042	299,042
利益剰余金	215,362	190,110
自己株式	△0	△0
株主資本合計	863,447	838,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△590	△586
繰延ヘッジ損益	△1,591	394
為替換算調整勘定	△18,910	△20,052
その他の包括利益累計額合計	△21,093	△20,244
新株予約権	12,550	9,836
非支配株主持分	-	-
純資産合計	854,904	827,787
負債純資産合計	6,003,587	5,722,178

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,191,368	1,526,396
売上原価	920,777	1,165,430
売上総利益	270,591	360,966
販売費及び一般管理費	471,217	371,528
営業損失(△)	△200,626	△10,562
営業外収益		
受取利息	51	109
受取配当金	25	18
助成金収入	1,441	21
為替差益	13,424	-
補助金収入	-	12,156
その他	1,585	2,034
営業外収益合計	16,528	14,338
営業外費用		
支払利息	19,382	18,746
為替差損	-	3,166
その他	1,833	1,752
営業外費用合計	21,216	23,665
経常損失(△)	△205,314	△19,889
特別利益		
新株予約権戻入益	932	2,713
特別利益合計	932	2,713
特別損失		
固定資産除却損	-	0
減損損失	7,196	8,313
訴訟関連費用	54,870	122
特別損失合計	62,067	8,436
税金等調整前中間純損失(△)	△266,449	△25,612
法人税、住民税及び事業税	528	11,769
法人税等調整額	△1,976	△12,130
法人税等合計	△1,447	△360
中間純損失(△)	△265,001	△25,252
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△265,001	△25,252

## 中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△265,001	△25,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	4
繰延ヘッジ損益	801	1,986
為替換算調整勘定	△5,942	△1,142
その他の包括利益合計	△5,096	848
中間包括利益	△270,097	△24,403
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△270,097	△24,403
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△266,449	△25,612
減価償却費	76,312	110,644
受取利息及び受取配当金	△76	△127
助成金収入	△1,441	△21
補助金収入	-	△12,156
支払利息	19,382	18,746
減損損失	7,196	8,313
訴訟関連費用	54,870	122
未収消費税等の増減額(△は増加)	△209,947	223,522
売上債権の増減額(△は増加)	85,070	25,412
棚卸資産の増減額(△は増加)	△179,601	92,428
前渡金の増減額(△は増加)	43,253	△414
契約負債の増減額(△は減少)	△4,033	11,854
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,349	△77,373
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,083	△34,925
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△3,079	16,409
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,447	△10,172
その他	3,826	△18,748
小計	△383,428	327,902
利息及び配当金の受取額	76	127
利息の支払額	△20,650	△18,811
助成金の受取額	1,441	21
補助金の受取額	-	12,156
訴訟関連費用の支払額	△56,677	△0
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△11,335	22,733
営業活動によるキャッシュ・フロー	△470,573	344,129

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,746,701	△32,697
無形固定資産の取得による支出	△550	△1,760
その他	10	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,747,241	△34,457
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,200,000	-
長期借入れによる収入	800,000	-
長期借入金の返済による支出	△66,666	△116,658
リース債務の返済による支出	△12,587	△11,978
セール・アンド・リースバックによる収入	23,100	-
その他	99	99
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,943,945	△128,537
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,701	△3,562
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△265,168	177,572
現金及び現金同等物の期首残高	1,999,126	1,495,324
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,733,958	1,672,897

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注)1 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	413,207	727,435	47,695	3,030	1,191,368	—	1,191,368
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	27,926	55	50	—	28,031	△28,031	—
計	441,134	727,490	47,745	3,030	1,219,400	△28,031	1,191,368
セグメント利益 又は損失(△)	19,930	△6,275	△145,202	△81,727	△213,274	12,648	△200,626

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これは主としてグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。

2 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「化学繊維用紡糸ノズル事業」において、新工場の建設及び大型メルトブローンノズル・ダイ製造設備の取得に伴い、固定資産が増加しました。これにより前連結会計年度の末日に比べ、「化学繊維用紡糸ノズル事業」のセグメント資産が、1,756,031千円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額	合計額
減損損失	5,590	—	1,606	—	7,196	—	7,196

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注) 1 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	358,201	1,039,286	124,343	4,565	1,526,396	—	1,526,396
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,625	—	—	—	3,625	△3,625	—
計	361,827	1,039,286	124,343	4,565	1,530,022	△3,625	1,526,396
セグメント利益 又は損失(△)	△4,021	100,384	△66,133	△54,602	△24,371	13,808	△10,562

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の取引の消去によるものであり、これは主としてグループ間の売上取引及び業務委託取引の消去によるものであります。

2 調整額の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	特殊精密 機器事業	化学繊維用 紡糸ノズル 事業	D-N e x t 事業	マテリアル サイエンス 事業	計	調整額 (注) 1	合計額
減損損失	—	—	6,164	393	6,558	1,755	8,313

(注) 1 調整額の金額は、すべて共用資産に係る金額であります。